

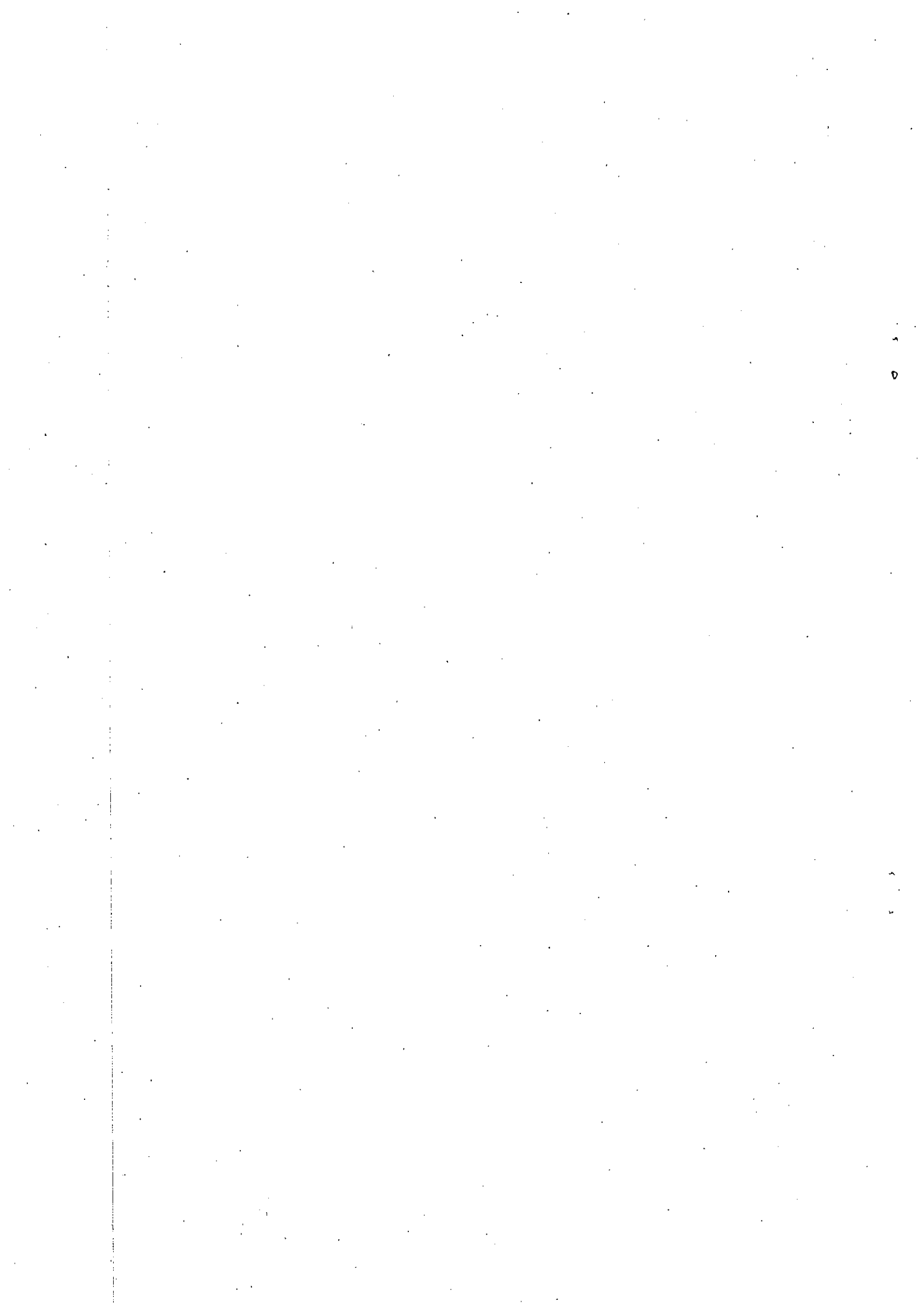
地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年8月19日)

- 1 第3回伯耆国「大山開山1300年祭」準備委員会の開催結果について

【地域振興局】

西部総合事務所



第3回伯耆国「大山開山1300年祭」準備委員会の開催結果について

平成28年8月19日
西部総合事務所地域振興局

8月1日、第3回伯耆国「大山開山1300年祭」準備委員会を開催し、伯耆国「大山開山1300年祭」事業展開案等について協議しました。

- 1 日時 8月1日(月)午後1時30分から午後3時30分
- 2 場所 米子市文化ホール イベントホール(米子市末広町293番地)
- 3 主な議事 伯耆国「大山開山1300年祭」事業展開案について

4 委員からの主な意見

〈情報発信〉

- 現案では「調ふ」(大山寺地区)、「不思議と素敵 大山ワンダー」(実行委員会)と2つのテーマ立てとしているが、1つの統一テーマとした方が分かりやすいのではないか。
- 県外の方に向けて、御利益を分かりやすい言葉で示せないか。
- 事業展開案を実施する上では、外に情報発信して旅行会社がツアー造成なり、いろんな形で誘客してくることも考えていかないといけない。

〈1300年祭への関心〉

- 歴史のものと現代のものをコラボして若い人を引き込むことが大切。(たたら侍のように人気アーティストとのコラボ)
- 地元(大山寺地区)の人がいまいち盛り上がっていないと感じる。

〈1300年祭の取組内容〉

- 「大山さんのおかげ」で台風等の影響がないなど、災害を避けてくれるという意識付けをイベントが終わっても残るような取り組みにしていきたい。
- 夜のイベント、宿泊をしないと楽しめないようなイベントがたくさんあれば良い。また、企画するだけでなく外に向かって効率的PRを行い周知することが重要。
- 展開案の中で、既存のものを拡充する部分と新たに実施するものを整理した上で取り組みたい。
- 平成29年に関金温泉が開湯1300年を迎えるので、何かしら大山1300年と連携したい。

※事業展開案については、今回の準備委員会での議論を整理し、委員との調整等を経た上で、実行委員会での議論・決定につなげていく予定。

5 今後のスケジュール

- 9月下旬以降 ・伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会設立
- 10月以降 ・各テーマを掘り下げ議論する専門部会(仮)の設置
・日本遺産認定記念フォーラム(仮称)実施予定

〈参考〉これまでの準備委員会開催実績

項目	第1回準備委員会	第2回準備委員会
(1) 期日	平成28年2月9日(火)	平成28年3月11日(金)
(2) 内容	・設立総会 ・記念フォーラム開催	・テーマ、メイン事業についての意見交換等

〈準備委員会委員等の意見集約〉

※大山開山1300年祭取り組み意見抜粋

- 大山開山1300年祭の方向性 (委員等意見抜粋)
- 一過性のイベントではなく、継続的な事業展開として欲しい
- 大山寺地区 (参道) の再建・活性化
- 大山ブランドの食レベルが高いので、食と水のメーカーと組んで取り組み
- いろいろなフックを作り、売りたいものをつなげ、来訪者にストーリーをつなげる
- 新しくイベントを作るのではなく、今ある既存のイベントを盛り上げて集客
- 観光客の平準化 (ピークを下げて、オフを上げる)

■大山の魅力的な素材を活用した事業の実施 (委員等意見抜粋)

- 大山は山そのものがご神体、山そのものを選択することが大切
- 大山の景観はいいが、景観がいいはどこにでもある。大山さんと宗教 (地藏信仰) とどう絡めるかを検討。
- 信仰の復活、大山さんのおかげ、昔は5月24日に歩いて大山に参っていた、信仰の道の活用。(大山道)
- 大山の金色の狼が大山を開いたという話、「玉清姫」などのエピソードなど大山の歴史等を紹介。
- 百事記・神話を大山開山1300年祭で、夕回一スアツラさせるよう取り扱った方がいい。
- 大山のレイラインなど「大山ラジダニ」を基にラジダニに守るといふところ幅広く紹介できる、芸術文化の展開、中海宍道湖園域との連携にも触れて欲しい。
- お地藏様、カラス天狗、僧兵などのイベント、フォーラム実施。
- 童子切り安綱という国宝の刃があるのでは、その展示。
- 列強チームが人気、また刃剣展示で若い方の来場多いので、童子切り安綱の展示で新旧のファンとの訪問を期待
- 湯治場と修験道の連携、大山と曾良山、三輪山と三輪山のコラボ (日本遺産連携、大山寺・三井寺連携)

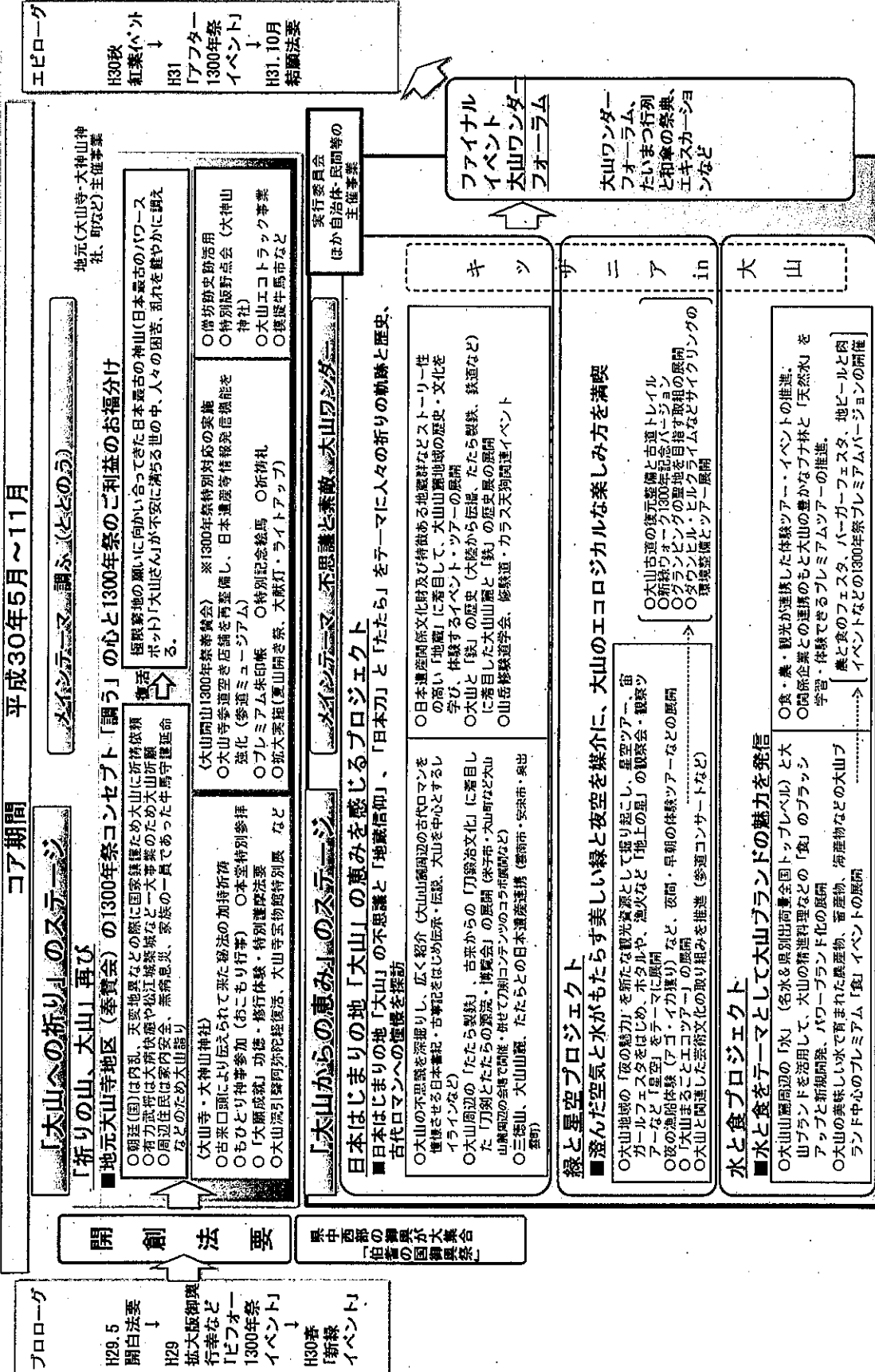
- 宿泊につながるよう、早朝又は夜間の受け皿づくり。
- 星空サイトツアー (満火・夜景鑑賞含む)、大山・三徳山お寺巡り、本物の宿坊での本物志向の宿泊体験、伯耆国で修験道と湯治場をつなげていけばいい
- 全ての取り組みに共通するのがツナガの森、水。
- 食について、大山のブランド、大山どりに代表されるように東京では本場にすぎない。東京、関西の市場、大山どりに代表される大山ブランド、相当浸透してきている。
- パッケージと食、大山どりに、大山ハム、大山野菜などを使うでどんどんPRしていくことも必要
- ※その他、名物料理づくりの意見あり。
- 「道」だけでなく「道」も入れて欲しい。
- 出雲大社、お大山、湯淵寺など大山と関係しているとすると連携すればいいとできるのでは。
- 大山の道場を基盤として観光スポットをつくりPRすることについて、宇美町とスアツラと三輪山のコラボを考えてみてはどうか。
- ※その他、絶景ポイント巡りの意見あり。
- 「道場」というものを提供していく、大山の自然、スポーツが直結するものであるのでは。外に向かってもいいのでは。
- ※その他、ウオーキングイベント、トレイルラン、山ガールファッショショナルショーなどの意見あり

4月以降の伯耆国「大山開山1300年祭」に係る新規検討事項

新規検討事項	内容
<p>山陰デスティネーションキャンペーン 【決定日：4月22日】</p>	<p>○地方自治体、地元の観光事業者、JRグループ（JR北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）が一体となって、地域の観光資源の開発や全国的な宣伝を行う広域的な観光誘客キャンペーン。 ○昭和53年から継続して実施されており、山陰では今回の開催で6回目。 ○対象地域：鳥取県・島根県全域 ○開催時期：平成30年7月1日～9月30日</p>
<p>山陰インバウンド機構 【設立日：4月22日】</p>	<p>〈主な業務〉 ○「山陰ブランド」の確立 ○インバウンド戦略の策定 ・主なターゲット地域 韓国、台湾、中国、香港、タイ（東南アジア）、欧米 ○海外向けプロモーション、国内向けプロモーション、受入環境整備</p>
<p>日本遺産認定 「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」 【認定日：4月25日】</p>	<p>○対象地域 米子市、大山町、伯耆町、江府町 ○「日本遺産」はクールジャパン戦略の一環として、東京オリンピック開催（2020年）までに100件を目標に、文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて国の文化・伝統を語るストーリーを認定する制度。 ○今後の日本遺産活用の取り組み 1市3町中心に組織する「日本遺産大山山麓魅力推進協議会」を中心に、次のとおり取り組み。 総合パンフレット（2言語）、ホームページ、ガイド育成、大山牛馬市等のバーチャルリアリティでの文化財再現、記念シンポジウム、地域住民講座、学習用教材、案内板・説明板、パネル作成など</p>
<p>山陰広域観光周遊ルート 「縁（えん）の道～山陰～」 【認定日：6月14日】</p>	<p>○申請者 山陰インバウンド機構 ○対象地域 鳥取県、島根県、山口県萩市 ○外国人旅行者の地方への誘客を図るため、認定された複数の広域観光周遊ルートに関係省庁の施策を集中投入し地域が推進する取組をパッケージで支援 ○平成27年6月12日時点、全国7ルートが認定済</p>
<p>大山寺旧境内国史跡指定 【答申日：6月17日】</p>	<p>○指定種別 国史跡 ○指定対象名称 大山寺旧境内 ○指定対象地面積 435,008.62㎡（43.5ha） ○遺跡範囲 約66.2ha</p>
<p>国立公園満喫プロジェクト「大山隠岐国立公園」の選定 【決定日：7月25日】</p>	<p>○環境省が日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることを目標に全国8箇所の国立公園において2020年までに訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施するモデル事業 ※大山隠岐国立公園以外の選定地域 阿蘇くじゅう国立公園（熊本、大分）、阿寒国立公園（北海道）、十和田八幡平国立公園（青森、秋田、岩手）、日光国立公園（福島、栃木、群馬）、伊勢志摩国立公園（三重）、霧島錦江湾国立公園（宮崎、鹿児島）、慶良間諸島国立公園（沖縄） ○今後、ナショナルパークとしての統一ブランドでの情報発信の検討をはじめ、行政や地元団体等構成される地域協議会を設置して自然や伝統文化を活かしたエコツアー開発などに取り組む。 ※ 環境省は本年度第2次補正予算、来年度予算を目指す予定</p>

伯耆国「大山開山1300年祭」事業展開（案）

「むすぶ」ではなく「つなぐ」1300年祭事業を展開
 ○季節ごとの地域中心とした山麓をメインの個別実施プロジェクトを誘発、成長する事業展開を目指す。
 ○大山寺を中心とした山麓をメインの個別実施プロジェクトを誘発、成長する事業展開を目指す。
 ○真体中六道湖園地など周辺地域との連携した事業展開についても検討。



※(国立公園清濁プロジェクト)の採択を受け、ビューポイント(選定)の、森の観察道などのハード整備については、同プロジェクトで検討していく

大山開山 1300 年祭・三徳山 1300 年祭・出雲大社「平成の大遷宮」との比較

項目	大山開山 1300 年祭	三徳山 1300 年祭	「神々の国しまね」プロジェクト
期間	平成 30 年 5 月～11 月	平成 18 年 4 月 23 日 ～10 月 29 日	平成 25 年 5 月 10 日 (H20. 4 月～H28. 3 月)
奉賛会等行事	<p>■大山寺等主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開創法要（開創 1300 年記念法要）〈5 月頃〉 ○新緑調う週間 ○比叡山回峰行者と大山登山〈5 月〉 ○伯耆の国神輿祭〈5 月〉 ○特別版たいまつ行列・夏山開き祭〈6 月〉 ○特別版もひとり神事〈7 月〉 ○特別版お盆の大献灯・和傘の灯り〈8 月〉 ○特別版野点会 ○たいまつ行列と和傘の祭典〈10 月〉 ○阿弥陀堂限定公開〈11 月〉 ○大山寺参道空き店舗活用（日本遺産情報発信機能強化） 	<p>■三佛寺主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春会式、1300 年祭開創法要、文殊堂落慶法要、御幸行列〈4/23 三徳山〉 ○文殊堂・地藏堂特別開（国指定重要文化財の特別内覧、解説）〈5/10～5/20 三徳山〉 ○夏会式「大般若」1002 年蔵王権現立像開眼法要（大般若経の転読、蔵王権現立像修復法要）〈7/18 三佛寺〉 ○京都護摩聖護院の護摩法要（山伏総本山京都聖護院山伏 200 名による護摩法要、御幸行列）〈10/22 三佛寺〉による護摩法要、御幸行列 ○三徳山の歩み展（国指定文化財（立像、銅鏡等）、展示内容のリニューアル）〈10/1～11/31 三徳山宝物殿〉 	<p>■出雲大社等主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成の大遷宮（御遷宮祭事） <ul style="list-style-type: none"> ・本殿遷座祭（H25. 5. 10） 国宝出雲大社御本殿、国指定重要文化財境内摂末社諸建宇及び境外摂末社御修造（御屋根葺替え・修理工事） ※仮殿遷座祭（H20. 4. 20） ○奉祝事業（期間：H25. 5. 12～6. 9） <ul style="list-style-type: none"> 場所 東神苑特設ステージ 内容 神楽、能、狂言、舞楽、雅楽などの伝統芸能、神楽劇、各種コンサートなど（その他、出雲大社の荒垣内や松の参道で吉兆神事や鷲舞神事、流鏝馬など。6 月から 11 月にかけて、出雲大社境内や周辺地域で各種行事や協賛イベントを開催） 〈実施行事抜粋〉 <ul style="list-style-type: none"> ・よみ語り（浅野温子よみ語りの会） ・コンサート（東儀秀樹・森山開次・佐藤健作他） ・コンサート（井上あずみ） ・和太鼓（林英哲&英哲風雲の会） ・大茶会（表千家・裏千家・三斎流・不昧流） ・神楽（地元及び他県から多数） ○広報事業 ○その他奉賛事業
実行委員会	<p>■実行委員会主催（検討中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○刀剣とたたら源流博覧会 ○大山の不思議と「鉄」の歴史展 ○地藏巡りイベント・ツアー ○星空ツアー、宙ガールフェスタ ○地上の星観察ツアー（ホテル・漁り火） ○大山まるごとエコツアー（大山古道復元整備・古道トレイル実施、新緑ウォーク、グランピング、サイクリング環境整備によるツアー展開） ○大山山麓の水とブランド活用によるパワーブランド化 ○食イベント開催 ○農食観光連携の体験ツアー・イベント ○関連企業と連携したブナ林体験ツアー 	<p>■実施委員会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三徳山世界遺産シンポジウム（講演、シンポジウム、現地見学会等）〈10/22 倉吉未来中心〉 ○大三徳山展（三徳山の歴史、文化、自然などを紹介）〈10/21～29 倉吉未来中心〉 ○全国役行者サミット（全国の役行者の関係者が地域の理想と活性化方策を討論）〈10/27・28 三朝町文化ホール〉 ○修験道ウォーク 7～9 月三徳山（2 回） ○三徳山ライトアップウィーク（三徳山のライトアップ、行者太鼓、雅楽等の夕べの集い）〈10/21～29 三徳山〉 ○広報 	<p>■神々の国しまね実行委員会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会実施、歴史 ・文化研修会への支援 ○おもてなし向上 ○イベント／助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域主要イベント（圏域別主要イベントブラッシュアップ補助金） ・地域イベント等（地域の歴史文化イベント事業助成金）（神々の国しまねプロジェクト観光誘客事業助成金） ○情報発信 ○旅行商品づくり

